

2024年度 事業報告

2024年4月1日～2025年3月31日

<Vision>

「広告業界の未来のために、JAAAは広告の価値と魅力を創造し向上させるエンジンとなる」

2020年初頭からのコロナ禍も、2023年5月には感染症法上の分類が第5類へ移行され、ようやく社会経済活動・社会生活が活発に動きだし、失われた30年とも揶揄されていた日本経済も復活の兆しが見えてきました。一方で、コロナ禍で加速したいわゆる「NEW NORMAL」な生活スタイルの浸透は、生活者に大きな意識変容をもたらし、私たち広告業界の意識改革・ビジネスransフォーメーションは待ったなしの状況を迎えています。

広告業界に対する逆風は、周辺業界での人権侵害問題などコンプライアンス違反・ガバナンス不足等の影響もあり終息が見えにくい状況が続いており、人材確保の観点も含め、あらためてコンプライアンスの徹底、社会課題へ真摯に向き合う姿勢とその役割を果たすことが求められていると痛感しています。

行政サイドからも、長く続いた日本経済の低迷から脱し、成長軌道を確たるものとするための矢継ぎ早の要請や、急拡大しているデジタル広告領域における規制面での協力要請が相次ぎ、社会生活・広告ビジネス双方に大きな影響をもたらす変化の1年となりそうです。

一方で、長引く国際紛争や高まる地政学的リスク、エネルギー・原材料コスト高騰からの物価高や不安定な為替の影響が、私たち生活者の不安を加速させていることに加え、広告主も同様に複雑に絡み合う環境下で変数の多い企業活動を余儀なくされ、あらためて、私たち広告業界が貢献すべき活動は非常に大きく、また期待され果たすべき社会的責任と使命は大変重いと考えています。

広告関係各団体・協会とのいっそうの連携強化を通して、「広告の価値と魅力」を高めてまいります。

<Action Plan>

1. 広告の拡張・新ビジネス創造への継続的なチャレンジ

DXはあらゆる広告ビジネスに影響を与え、従来のビジネスモデルも大きく変容しつつあり、広告そのものの定義・領域も拡張している。私たち広告業界は「クリエイティビティ」を持って、常に新たな価値の創造を追求している。従来の垣根にとらわれずに、新しい価値創造のアイデア・企画を提供していくチャレンジに終わりはない。会員社が協調し推進するポリシーや指針、共通の指標の策定などを通じて、広告業界全体の「価値と魅力」の創造・向上を加速する。

2. 広告および広告業界の信頼と魅力回復にむけたガバナンス強化

昨今の広告および広告業界への逆風は、多様で柔軟な有望人材確保はじめ様々な面で私たちの活動にネガティブな影響がでている。広告の持つ優れて素晴らしい機能・意義・役割をあらためて社会やそこで暮らす生活者に再評価・再認識してもらう活動とその積極的な発信に努めたい。

コンプライアンス遵守は当然のこと、イノベーションを生み出す土壌となるDE&Iの推進や日々進化し拡張するテクノロジーへの対応ポリシーの策定、広告業界含めた日本の産業経済への貢献など、JAAAとして積極的に取り組み・発信していく。

3. 社会課題への取り組み強化と発信

2016年にスタートした「SDGs」は、私たち地球上に生きるすべてが協力し、2030年までに解決せねばならない17の目標を共有したもので、その多くは現時点でもまだまだ達成までの道のりは厳しいものがある。DE&Iの推進活動や日本アドバタイザーズ協会・日本民間放送連盟と連携して推進する「字幕付きCM普及推進協議会」活動、脱炭素化の流れが私たち広告業界にもたらす影響や生成AIに代表されるAIテクノロジーがもたらすプラス面・マイナス面など、広告業界として向き合い協調して取り組むべき社会課題は山積している。これら、社会課題に応える広告業界の活動をさらに加速させていく。

<2024年度 事業報告>
(2024年4月1日～2025年3月31日)

1. 2024年度を振り返って

電通が発表した「2024年 日本の広告費」によると、日本の総広告費は、前年比104.9%の7兆6,730億円となり3年連続で過去最高を更新、マーケットの成長をリードするインターネット広告費は前年比109.6%となり、総広告費に占める構成比は5割に迫る47.6%となっています。

2024年度はデジタル空間の情報健全化が大きな社会問題となりましたが、JAAAではインターネット広告の信頼性を確保するための活動に注力しました。2024年5月に「デジタルメディア上における詐欺広告について」声明を発表して以降、総務省のデジタル広告ワーキンググループに参加し、「広告主等向けガイダンス」作成に協力するなど積極的に課題解決に取り組んできました。また地球規模の課題への取り組みとして「脱炭素化研究会」を立ち上げ、広告関連団体との連携を強化しながら、CO₂排出量計測の業界基準確立に向けて活動しています。

コロナ禍を契機に取り組んできた「OOH新共通指標策定プロジェクト」では、2025年の一般社団法人設立に向けて準備が進むなど、様々な形で広告業界全体のインフラ整備を行ってまいりました。基幹事業である懸賞論文は、委員会による新たな工夫で応募者が増え、会員向けの会報誌「JAAA REPORTS」は完全オンライン化への移行を始めるなど、従来行ってきた事業も、常に時代に合わせて「あるべき姿」を見直し、実行いたしました。

日本経済は賃金上昇の流れが見られながらも、物価高の影響等により、実質GDP成長は横ばい状態となっています。米国におけるトランプ大統領の誕生により、世界政治・経済の不透明感が増しており、日本経済も様々な影響が想定されていますが、JAAAは「人々の生活を豊かにする」という広告の本質的価値を高めるために、引き続き時代の趨勢を見極め、業界団体として広告業の発展のために対応を強化してまいります。

2. 業務執行報告

(1) 2024年度定時総会

下記の通り開催した。会員代表者の出席者65名、委任状の提出が59名、合計124名で、会員総数149社の過半数を超える定款第17条及び第18条により本総会は有効に成立した。

定款により五十嵐理事長を議長に選任し、議事録署名人として日本廣告社の波岡修氏、博報堂の水島正幸氏を選任した。

1) 日 時 2024年5月31日 (金) 13時30分～14時15分

2) 会 場 東京會館・3階ローズ

3) 議 事

[報告事項]

1. 2023年度事業報告の件

2. 「広告会社におけるサプライチェーン全体での取引適正化に向けた自主行動計画」改正の件

3. 「日本廣告業協会AIポリシー」策定の件

4. 2024年度事業計画並びに収支計画の件

[決議事項]

第1号議案 2023年度決算報告承認の件

第2号議案 2024年度役員選任の件

(2) 理事会

業務執行理事である理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の職務執行状況は以下の通り。

(理事長：五十嵐博)

<2024年4月1日～2024年5月31日>

■五十嵐理事長、戸田副理事長、大山副理事長、泉副理事長、橋爪専務理事、池田常務理事

4月25日 第339回理事会の開催

1. 2023年事業報告・決算報告承認の件
2. 2024年度役員候補者承認の件
3. 2024年度定時総会招集通知案承認の件
4. 利益相反取引報告承認の件

<2024年5月31日～2025年3月31日>

■五十嵐理事長、戸田副理事長、大山副理事長、泉副理事長、高品専務理事、池田常務理事

7月19日 第340回理事会の開催

1. 役員退職慰労金案承認の件
2. 利益相反取引報告承認の件
3. 日本広告業協会事務局移転の件

10月29日 第341回理事会の開催

1. 2024年度上期事業報告及び収支決算報告承認の件
2. 利益相反取引報告承認の件

1月30日 第342回理事会の開催

1. 日本広告業協会創立75周年記念企画の件
2. 利益相反取引報告承認の件

3月24日 第343回理事会の開催

1. 2025年度事業計画案・収支予算案承認の件
2. 第60回吉田秀雄記念賞受賞者承認の件
3. 第54回懸賞論文入賞・入選者承認の件
4. 2024年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者承認の件
5. 第12回 広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞承認の件
6. 入会申請承認の件
7. 2025年度定時総会開催承認の件
8. 利益相反取引報告承認の件
9. 日本広告業協会創立75周年記念企画の件

■高品専務理事、池田常務理事

協会運営等を推進

・正副理事長会議

3月24日 業務執行体制等について

・運営委員会（委員長：戸田裕一）

4月19日 第339回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。

7月 9日 第340回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。

9月 5日 臨時運営委員会を実施し、運営委員会下に「脱炭素化研究会」の組成を決定した。

10月22日 第341回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。

1月20日 第342回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。

3月17日 第343回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。

・財務委員会（委員長：曾我有信）

4月11日 2023年度決算報告について書面決議を行った。

3月10日 2025年度収支予算案について書面決議を行った。

・入会資格審査委員会（委員長：大塚尚司）

3月13日 株式会社ビー・ブレーブの入会審査を行った。

・吉田秀雄記念賞選考委員会（委員長：神田橋治）

2月 7日 第60回吉田秀雄記念賞の候補者について検討を行った。

3月10日 第60回吉田秀雄記念賞の選考を行った。

・役員選挙管理委員会（委員長：丹羽信一）

3月31日 2025・2026年度役員選挙の推薦数、選挙方法（電子投票）及びスケジュールについて検討した。

(3) 監査・検査

4月11日 会計検査 2023年度決算に関して監事会社の経理担当者による会計検査を書面で行った。

4月11日 監査 2023年度決算並びに業務の執行状況について、監事による監査を書面で行った。

10月16日 会計検査 2024年度上期決算に関して監事会社の経理担当者による会計検査を書面で行った。

10月16日 監査 2024年度上期決算並びに業務の執行状況について、監事による監査を書面で行った。

(4) 理事・監事の就任及び辞任

◆理事の辞任

2024年5月31日付

落合由紀子 株式会社グレイワールドワイド

桑原 常泰 株式会社東急エージェンシー

2024年6月26日付

厚地 純夫 株式会社ＪＲ東海エージェンシー

2024年9月30日付

高瀬竜一郎 株式会社フロンティア

2024年10月31日付

岡咲 匠彦 株式会社グレイワールドワイド

2025年3月31日付

矢嶋 弘毅 株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

◆専務理事の辞任

2024年5月31日付

橋爪恒二郎 一般社団法人日本広告業協会

◆理事・監事の就任

◇理事

2024年5月31日付

岡咲 匠彦 株式会社グレイワールドワイド

平田 俊司 株式会社第一通信社

佐野 傑 株式会社電通

岩井 大 株式会社電通アドギア

高坂 俊之 株式会社東急エージェンシー

青木 貴志 株式会社マッキンゼン&カンパニー

◇監事

2024年5月31日付

内田 渉 株式会社TBWA\HAKUHODO

◆専務理事の就任

2024年5月31日付

高品 宏仁 一般社団法人日本広告業協会

3. 各委員会報告

◆ビジネス統括委員会（担当理事：神田橋治 委員長：松本千里）

10月2日、3月7日

1. 委員の交替

中井 規之 (ADKホールディングス) ⇒ 三田 守 (同社)
高橋 敦司 (ジェイアール東日本企画) ⇒ 小野 伸司 (同社)
福田 篤史 (マッキンゼン&カンパニー) ⇒ 園田 智之 (同社)
橋爪恒二郎 (日本広告業協会) ⇒ 高品 宏仁 (協会 専務理事)

2. 2024年度各委員会報告

経理委員会、情報システム委員会、法務委員会、制作取引委員会、営業委員会、著作権委員会、広告の機能と役割研究委員会、CSR委員会、広告問題研究委員会より上半期の活動報告を10月2日に、下半期（年度）の活動報告を3月7日に受けた。

・ 経理委員会（委員長：長森秀樹）

10月9日、2月20日

1. 委員の交替

森 健（大広） ⇒ 増島 愛子 (同社)
寺岡 洋一 (マッキンゼン&カンパニー／マッキンゼン&カンパニー・ワールドグループ) ⇒ 坂元芽生子 (同社)

2. 「広告会社のための下請法ガイドブック」追補版について

下請法上の指導基準の変更に伴い、2024年11月に「広告会社のための下請法ガイドブック」の追補版を公開した。

・ 情報システム委員会（委員長：奥村卓也）

7月30日、10月30日、11月8日、12月18日

1. 2024年度「情報システムに関するアンケート」の報告について

定点観測として実施している「情報システムに関するアンケート」についての結果報告をJAAAウェブサイトに掲載した。今年度はAI・生成AIなど新しいテクノロジーの導入に関する項目を追加した。

・ 法務委員会（委員長：長谷川雅典）

1. 委員の交替

乗本 乃輔 (ADKホールディングス) ⇒ 内山 大暢 (同社)
増田 浩 (博報堂DYホールディングス) ⇒ 柳原 康成 (同社)

2. JARO 広告研究セミナー（オンライン）の実施協力

主 催 日本広告審査機構、日本アドバタイザーズ協会、日本アド・コンテンツ制作協会、日本広告制作協会、日本インタラクティブ広告協会、日本広告業協会他

【1回目】広告法務セミナー「2023年度JAROの広告審査と事例」

日 時 2024年8月7日（水）

講 師 吉田 嶽 (JARO 審査部課長)

参加者 1,842名

参加費 無料

【2回目】広告法務セミナー「景品表示法の運用状況と違反事例」

日 時 2024年9月4日（水）
講 師 高居 良平（消費者庁 表示対策課課長）
参加者 440名
参加費 4,000円

・制作取引委員会（委員長：沼澤忍）

10月17日、3月6日

1. 委員の交替

小林 晃（ADKクリエイティブ・ワン）
⇒ 若木 信（ADKマーケティング・ソリューションズ）

2. 副委員長の交替

副委員長 若木 信（ADKマーケティング・ソリューションズ）

3. 字幕付きCM普及推進協議会への協力

日本アドバタイザーズ協会（JAA）、日本民間放送連盟（民放連）、JAAAの3団体で構成する字幕付きCM普及推進協議会への協力と活動の周知を継続して実施した。

また、6月21日に実施した協議会から観測レポートが発表され、これに伴って全国要約筆記問題研究会から取材依頼を受け、7月17日に沼澤委員長が参加して意見交換等を行った。

4. 「広告業務受発注確認書」の作成等について

広告業務の受発注における透明性と適正な運用を促進するため、日本アド・コンテンツ制作協会（JAC）、日本広告制作協会（OAC）、JAAAの3団体で、2024年11月1日に広告業務受発注確認書の改定を行った。引き続き「新しい働き方のための広告制作プロセスマネジメントハンドブック（2018年9月発行）」の改定に取り組むこととした。

・営業委員会（委員長：木内伸雄）

3月3日

1. 委員の交替

成田 聰（朝日広告社） ⇒ 田中 呂欣（同社）
稻葉 朋江（ジェイアール東日本企画） ⇒ 高橋 拓也（同社）
佐藤 教行（大広） ⇒ 石田 賢造（同社）
降旗 淳（電通コーポレートワン） ⇒ 木内 伸雄（同社）
佐藤 義彦（日本経済広告社） ⇒ 鈴木まみ子（同社）
谷口 弘典（博報堂） ⇒ 奥村 裕吾（同社）

2. 委員長、副委員長の交替

委員長 木内 伸雄（電通コーポレートワン）
副委員長 奥村 裕吾（博報堂）

3. 字幕付きCM普及推進協議会への協力

JAA、民放連、JAAAの3団体で構成する字幕付きCM普及推進協議会への協力と活動の周知を継続して実施した。

4. 「広告業務受発注確認書」の運用への協力について

「広告業務受発注確認書」の運用及び普及について協力を行ったほか、その他の協会のアクションについても営業の領域から確認・助言・協力を行った。

・著作権委員会（委員長：渡部秀人）

7月1日、2月18日

1. 委員の交替

平野 康子（ADKホールディングス） ⇒ 横溝 伸一（同社）

2. 委員の退任

山本 京輔（博報堂）

3. 日本アドバタイザーズ協会「広告担当者必聴：広告制作に関する基礎法規セミナー」講師派遣
参加人数（合計）：674名

第1回（9月10日）著作権

講 師 渡部 秀人（委員長／電通コーポレートワン）

第2回（9月20日）表示

講 師 星 知矩（電通コーポレートワン）

第3回（10月9日）ステルスマーケティング

講 師 山本 京輔（博報堂）

第4回（10月24日）肖像権、プライバシー権・パブリシティ権

講 師 寺林 憲宏（委員／大広）

第5回（11月8日）商標

講 師 東條 公彰（委員／博報堂）

桐山 大（弁理士／野本・桐山国際特許事務所所長）

・広告の機能と役割研究委員会（委員長：河原大助）

4月11日、7月2日、8月23日、10月22日、11月11日、11月26日、12月4日

1. 委員の交替

戒田 好範（ADKマーケティング・ソリューションズ） ⇒ 武藤 一（同社）

片倉 淳子（大広） ⇒ 中村友紀子（同社） ⇒ 指出 健次（同社）

藤田 和宏（博報堂） ⇒ 日高 義介（同社）

2. 広告についての意識調査（アンケート）の実施

・広告会社の強みは、これまでに培った「クリエイティビティ」であり、これからも不変の力である。

・その「クリエイティビティ」を活かし、広告以外の新しい領域に業域を拡大することにチャンスがある。

この広告業界の未来の可能性を担う「クリエイティビティ」に対する理解を深めるために、各委員会の委員長と副委員長を対象にアンケートを行い会報3月号の特集として掲載した。

・CSR委員会（委員長：宮坂隆行）

9月17日、2月17日

1. 委員の交替

庄司 猛（電通コーポレートワン） ⇒ 吉田 祐子（同社）

2. SDGsポスター募集事業及びテーマの検討について

2019年度から5回にわたって実施してきたSDGsポスター募集事業について、広告業界におけるSDGsテーマの浸透や共通理解の推進に一定の成果を挙げられたとして、今年度から実施を見送ることとした。

今後は「ダイバーシティ」「ジェンダー」「環境問題」等について、会員社のソーシャルなテーマに対する理解促進となるよう、セミナーや勉強会を企画検討していくこととした。

3. 脱炭素化への取組協力について

運営委員会の下に「脱炭素化研究会」が設置されたことに伴い、CSR委員会でも情報共有と協力を検討していくこととした。

・広告問題研究委員会（委員長：北原利行）

6月17日

1. 委員の交替

増田 浩（博報堂DYホールディングス） ⇒ 柳原 康成（同社）

2. JAAAセミナー「『2023年 日本の広告費』からみる現状とこれから」

日 時 2024年4月22日（月）13時～14時（ウェビナー）

講 師 北原 利行（委員長／電通）

参加費 無料（会員社、各地区広告業協会会員社対象）

参加者 261名

◆メディア委員会（担当理事：矢嶋弘毅 委員長：永井聖士）

10月21日、2月26日

1. 委員の交替

杉浦 修（東急エージェンシー） ⇒ 佐藤 隆（同社）

磯村 美樹（博報堂） ⇒ 名倉 健司（同社）

星野 広規（読売広告社） ⇒ 林 忠典（同社）

橋爪恒二郎（日本広告業協会） ⇒ 高品 宏仁（協会 専務理事）

2. 日本民間放送連盟「2024年日本民間放送連盟賞グランプリ審査員」推薦

日本民間放送連盟よりグランプリ審査員の推薦依頼を受け、メディア委員会委員から2名を推薦した。

テレビ審査委員 松井 薫（I&S BBDO）

ラジオ審査委員 弓矢 政法（ジェイアール東日本企画）

3. 2024年度各委員会報告

テレビ委員会、ラジオ委員会、新聞委員会、雑誌委員会、交通広告委員会、インターネット広告委員会、メディア調査研究委員会、メディア業務改善委員会、CM素材オンライン運用推進プロジェクト、OOH新共通指標プロジェクトより、上半期の活動報告を10月21日に、下半期

(年度)の活動報告を2月26日に受けた。

・**テレビ委員会（委員長：相坂勇人）**

5月16日、7月25日、9月26日、12月12日、1月28日、3月21日

1. 委員の交替

相澤 学（マッキヤンエリクソン） ⇒ 吉森聰一郎（同社）

2. 字幕付きCM普及推進協議会について

①字幕付きCM普及推進協議会 第10期／第11期 運営委員会

日 時 2025年1月31日（金）10時～11時

*第11期（2025年度）はJAAAが専務事務局として運営

②セミナー等の実施

(1) 字幕付きCM意見交換会（民放連・JAAA・日本ポストプロダクション協会（JPPA））

日 程 2024年11月19日（火）

場 所 民放連会議室（千代田区）

参加者 27名 20社（放送局）

(2) 字幕付きCMセミナー（北海道）

日 程 2024年11月27日（水）

共 催 北海道広告業協会（HAAA）、JAAA

会 場 札幌グランドホテル（札幌市）

参加者 40名 25社（*広告会社・制作会社 34名20社、在北海道テレビ局6名5社）

③字幕付きCMのデータについて

(1) 字幕付きCM普及推進協議会の実施及び字幕付きCMの放送割合調査

(オンエア率)を4月と10月に調査（1か月間の放送を調査）

4月：放送割合は25.2%、広告主数は118社

10月：放送割合は20%、広告主数は131社

(2) 広告EDIセンター 字幕付きCMのOL送稿の割合 2025年3月は10.5%

(3) JPPA字幕付きCM 制作本数 2025年3月 = 392本 対前年比113.0%

3. テレビCM素材オンライン運用について

* CM素材オンライン運用推進プロジェクト参照

4. 「テレビ×デジタル動画の統合指標（業協マスタ部分）について」

メディア調査研究委員会より、「テレビ・デジタル動画における統合指標～業協人口マスタ変更について」に基づいて説明を受けた。

5. 「放送確認書誤記載調査」について

①2023年度下期「放送確認書誤記載調査」実施

調査期間 2023年10月～2024年3月

対 象 テレビ委員会・放送確認ワーキンググループ

締 切 2024年6月17日（月）

調査参加会社 14社

集計報告 番組：誤記載97件

スポット：誤記載150件

②2024年度上期「放送確認書誤記載調査」実施

調査期間 2024年4月～2024年9月

対象 テレビ委員会・放送確認ワーキンググループ

締切 2024年12月13日（金）

調査参加会社 14社

集計報告 番組：誤記載80件

スポット：誤記載229件

6. テレビCM共同考查についての検討（一般社団法人テレビCM考查センター）について

2024年3月に、在京キー5局の準備チームから共同考查対応のためのワーキンググループ設置の要請を受け、「テレビCM共同考查検討WG」を組織し、5月10日から活動を開始した（2024年9月30日に「一般社団法人テレビCM考查センター」が設立された）。

①テレビCM共同考查検討WG

リーダー 鷺田 考志（博報堂DYメディアパートナーズ）

サブリーダー 氏家 亮（電通）

②説明実施の周知協力

日 時 2025年3月25日（火）14時～16時

7. リアルタイム配信視聴動向について

在京5社による同時配信サービス営業WGより「リアルタイム配信視聴動向レポート」について説明を受けた。

8. 「無料BS放送におけるCM利用楽曲報告」について

民放連から広告会社への協力要請（楽曲情報提供と放送回数報告）について、テレビ委員会正副委員長で検討を行い、双方提案のフローについて継続して両者で擦り合せを行った。

9. テレビ広告懇談会（テレビ広告取引に関する民放連・JAAAの懇談会）の開催

①2024年度上期

日 時 2024年9月11日（水）13時30分～14時30分

形 式 オンライン

②2024年度下期

日 時 2025年2月27日（木）14時～15時

形 式 オンライン

内 容 字幕付きCM普及推進協議会報告、CM素材オンライン運用最新状況報告、放送確認書次世代運用の検討等

・ラジオ委員会（委員長：木村直之）

4月17日、7月22日、2月3日

1. ラジオCM素材搬入基準（2024年11月1日適用）について

①ラジオCM進行サブWGの開催：4月9日、6月19日（民業合同）に実施し、搬入項目や新基準運用の確認、周知用の案内資料の検討作成を行った。

②ラジオオンライン技術サブWGの開催：4月14日、5月19日、6月15日、7月19日、8月26日、

9月13日、10月11日、11月22日、12月13日、1月17日、2月14日、3月13日の毎月実施。素材数進行表オンライン件数の共有、システム障害報告と対応の検討等を行った。また、素材搬入基準適用に向けRadi Posのシステム仕様の検討改善を行った。

③2024年7月23日に民放連・業協ラジオCM運行合同WG名で、「『ラジオCM素材搬入基準』が変わります」というリーフレットを各団体ウェブサイトに掲載し、ラジオCM素材の対応を呼びかけた。

④ラジオ委員会主催で、「ラジオCM素材搬入基準対応説明会」（ウェビナー）を10月1日に開催。
参加登録は942名で広告会社、ポストプロダクション、放送局など多くの参加があった。

2. TBSラジオ CM素材無断差し替え事象についての対応

TBSラジオ CM素材無断差し替えについて委員会にて一連の事象の共有を行った。2024年10月8日に、ラジオ委員会主催で「TBSラジオ『CM素材無断差し替え』事象共有と進行・確認業務に関する適正運用セミナー」を実施（参加者223名43社）し、資料をJAAAウェブサイトの会員社ページに掲出した。当案件はTBSラジオ個社の問題ではなく、組織・コンプライアンス、業界全体の課題として対応し、放送確認書の理解及び適正な運用についての周知徹底を行った。

2. ラジオセミナーの実施

日 時 2024年11月11日（月）13時～14時

形 式 オンライン

テー マ radikoの最新状況と新しい広告商品について

講 師 青木 貴博（radiko 代表取締役社長）

坂谷 溫（radiko 取締役 プラットフォーム推進室長）

五十嵐 渉（radiko ビジネス推進室長）

参加者 117名

・新聞委員会（委員長：出光淑子）

5月21日、2月12日

1. 委員の交替

藤森 裕介（ADKマーケティング・ソリューションズ） ⇒ 平塚 崇晃（同社）

⇒ 藤森 裕介（同社）

林 朗子（電通） ⇒ 小嶋 伸夫（同社）

大川 昭子（東急エージェンシー） ⇒ 苗田 修一（同社）

2. 副委員長の交替

副委員長 藤森 裕介（ADKマーケティング・ソリューションズ）

副委員長 小嶋 伸夫（電通）

3. 新聞広告掲載確認調査の実施

①日本新聞協会調査

2024年 4月～12月 全件問題なし

②第三者のモニタリング調査

掲載調査日 2024年11月20日（水）

対象紙 全国紙、ブロック紙、地方紙、スポーツ紙 計109紙／171版

確認ターゲット広告数 792

調査結果 すべての広告掲載を確認

※第三者機関として株式会社日本デイリー通信社を選定

※日本アドバタイザーズ協会、日本新聞協会に結果報告を行った。

4. 「多メディア時代における新聞の役割とメディア接触者の動向調査」結果報告について
日本新聞協会の広告委員会・マーケティング戦略チームより、本調査報告の説明を受けた。

・雑誌委員会（委員長：前川昌子）

1. 委員の交替

金原 亨（電通） ⇒ 庄司 泰輔（同社）

大川 昭子（東急エージェンシー） ⇒ 苗田 修一（同社）

和田 智一（双葉通信社） ⇒ 葛原祐一郎（同社）

2. 副委員長の交替

副委員長 庄司 泰輔（電通）

副委員長 苗田 修一（東急エージェンシー）

3. 雑誌広告デジタル送稿推進協議会の開催／オンライン送稿に関する現状の確認

雑誌広告デジタル送稿推進協議会関連（以下、デジ協）について

・デジ協委員会のメンバーに正副委員長各社より委員を派遣

・デジタルセンド社の新オンライン送稿システムについて

＜デジタルセンド加入社数（2025年3月現在、〔 〕内は昨年）＞

広告会社 105社（原稿制作会社も含む）〔86社〕

出版社 32社〔31社〕

制作・製版会社 52社〔45社〕

印刷会社 16社〔13社〕

＜雑誌広告送稿本数 2024年1月～12月＞

7,277本〔7,508本〕

・交通広告委員会（委員長：青柳淳英）

5月28日、3月10日

1. 日本鉄道広告協会（JAFRA）「交通広告共通指標推進プロジェクト」報告会

JAFRA交通広告共通指標プロジェクトより、車両メディア共通指標推定モデルのデータ更新等、2024年度の活動報告を受けた。

2. 交通広告セミナーの実施

日 時 2025年2月26日（水）16時～17時

形 式 オンライン

テーマ「広告主視点のOOH活用戦略」

講 師 佐藤 賢（サントリーホールディングス コミュニケーションデザイン本部 宣伝部 課長）

参加者 207名 44社

・インターネット広告委員会（委員長：石川直樹）

5月14日、8月21日、2月5日

1. 委員の交替

田中 翼 (I&S BBDO) ⇒ 緒方 博憲 (同社)

水科 宗作 (オリコム) ⇒ 飯沼 友康 (同社)

金子 一秀 (マッキヤンエリクソン) ⇒ 永田 啓介 (同社)

2. 日本経済新聞社メディアビジネスへの登壇協力について

イベント名 日経コーポレートプランディングセミナー

「デジタル・AI時代のブランドガバナンス」

協 力 日本アドバタイザーズ協会 (JAA)、日本インタラクティブ広告協会 (JIAA)、
デジタル広告品質認証機構 (JICDAQ)、JAAA

日 時 2024年7月29日 (月) 13時～15時30分

形 式 会場開催 (日経カンファレンスルーム・千代田区) + アーカイブ配信

登壇者 石川 直樹 (委員長／博報堂DYメディアパートナーズ)

板橋万里子 (花王)

小堺 吉樹 (ネスレ日本)

小出 誠 (JICDAQ)

3. アドテック東京2024セッションの実施について

テーマ『若手社員 VS 生成AI』～私はAIに勝てる～

日 時 2024年10月18日(金)10時～10時40分

会 場 東京ミッドタウン (港区)

ファシリテーター 西村 大輔 (委員／東急エージェンシー)

スピーカー 山田 萌 (I&S BBDO)

常森 悠花 (朝日広告社)

奥 健太郎 (東急エージェンシー)

秦 雄治 (博報堂DYメディアパートナーズ)

村木廣太郎 (IPG MEDIABRANDS)

サポート 中原 栄 (Hakuhodo DY ONE)

4. 第6回 海賊版サイトへの広告出稿抑制に関する合同会議

日 時 2025年1月21日 (火) 13時～14時

形 式 オンライン

参加団体 コンテンツ海外流通促進機構 (CODA)、JAA、JAAA、JIAA、経済産業省、文化庁

※JAAAからは石川委員長と事務局が参加

主な議題・「著作権侵害に関する要警戒リスト (CODAリスト)」の運用状況について

・海賊版サイトへの広告出稿抑制に関する意見交換

5. 山形県広告業協会主催「YAAA広告セミナー」講師派遣

日 時 2025年1月21日 (火) 14時～17時30分

会 場 ホテルメトロポリタン山形 (山形市)

講演者 西村 大輔 (委員／東急エージェンシー)、他 1名

テーマ「広告会社におけるAI活用について」

参加者 85名

6. 一般社団法人デジタル広告品質認証機構（JICDAQ）について

①登録・認証状況

2025年3月現在	登録アドバタイザー	157社
	登録事業者	191社
	品質認証事業者	177社
	賛助登録事業者	5社
	サポート官公庁	2自治体

②JICDAQ Annual Report 2024

日 時 2024年11月25日(月) 17時～18時

会 場 如水会館（千代田区）

プログラム及び登壇者

・JICDAQの現状と今後

中島 聰（JICDAQ代表理事／JAA専務理事）

・パネルディスカッション「国はデジタル広告業界に何を求めているか」

大内 朋哉（総務省 情報流通常行政局情報流通振興課情報流通適正化推進室課長補佐）

長島 由晃（経済産業省 商務情報政策局情報経済課デジタル取引環境整備室課長補佐）

小出 誠（JICDAQ 事務局長）

・閉会挨拶

森 紀一朗（JICDAQ理事／JIAA専務理事）

・メディア調査研究委員会（委員長：河村徹生）

9月17日、1月15日

1. 業協人口マスタの仕様変更

民放テレビ局視聴可能エリア内推定人口（業協人口マスタ）の仕様変更について、JAAAテレビ委員会や民放連への報告を経て、2024年度からは、テレビ所有率を掛け合わせた新仕様を採用することとした。データ作成はビデオリサーチ社に依頼した。

2. テレビ視聴率名古屋地区サンプル拡大について

ビデオリサーチ社より、2025年4月以降のテレビ視聴率名古屋地区サンプル拡大（「業協マスター」の4月更新）について説明を受けた。

3. R&F+パラメータの更新概要について

ビデオリサーチ社より、R&F+パラメータの更新概要について説明を受け意見交換を行った。

・メディア業務改善委員会（委員長：井上聰）

12月5日、2月20日

1. テレビCMオンライン運用説明会について

①高知・テレビCMオンライン運用説明会

日 時 2025年2月6日（木）14時～15時

会 場 高知放送てらすホール（高知市）

参加者 広告会社テレビ担当者 23名 13社、放送局営業担当者 8名 3局

②中四国地区CM責任者会

日 時 2025年2月7日（金）14時～17時

会 場 高知県立高知城歴史博物館

参加者 中四国テレビ・ラジオ局 47名 31社

2. 放送確認書の次世代方式（ペーパーレス化）の検討について

民放連とJAAAとの次世代放送確認書のPDF化に向けて、下記の内容にて合意した。

- ・PDF化した確認書はオンラインで交付する
- ・広告会社向け共通受領サービスは広告EDIセンターに委託する
- ・民放連がシステム開発支援を行う
- ・サービス内容の企画提案はJAAAが、システム開発は広告EDIセンターが主体となって推進する

・CM素材オンライン運用推進プロジェクト（リーダー：井上聰）

1. テレビCMオンライン運用最新状況について

①テレビCMオンライン運用最新状況（2025年3月31日現在）

搬入素材数 3,089,886本

広告主数 6,854社

広告会社数 761社

搬入可能局数 186局

②オンライン受入局数（2025年3月31日現在）

受入局数（民放連加盟局） 【内訳】

系列局 114局中 114局

独立局 13局中 13局

B S局 13局中 10局

合 計 140局中 137局

民放連加盟局以外のB S／C S局オンライン送稿運用

B S局（民放連未加盟） 2局

C S局 25社 47局

総 計（オンライン運用開始済） 186局

2. 2030年に向けたCM素材運用の動向について

①完全クラウド対応のCMオンライン送稿

設備のクラウド化が進み、CMDeCo（クラウド）から局設備（クラウド）への時代になっていく。

②広告EDIセンターとの連携による課題対応

広告EDIセンターとの連携を進め、現在運用中のサービスレベル（安全性、ユーザビリティ、サービスメニュー等）をさらに向上させていく。

③XDCAMディスク状況について

XDCAMディスクの生産終了が伝えられるなか、ローカル域内ではXDCAMが専らであるため出

口戦略を検討する。

④完全オンラインネイティブなCMファイルについて

物理ディスクの使用とは表裏に、軽容量かつ汎用性のある次世代のCMファイル形式が求められている。

3. ステークホルダーへの対応

ステークホルダーのうち、素材搬入事業者（9社）事業者固有の団体が存在しないため、情報共有を適宜実施した。

①第8回 「JAAA素材搬入事業者情報共有会」

日 時 2024年4月24日（水）15時～16時

会 場 電通銀座ビル（JAAA会議室）

内 容・CM素材オンライン送稿と字幕付きCMの最新状況

- ・放送局クラウド移行の進捗状況
- ・再搬入実績データの誤集計に関するご報告とお詫び
- ・再送稿と一括相談フォームに関するご相談
- ・質疑応答

参加者 48名 9社

②第9回 「JAAA素材搬入事業者情報共有会」

日 時 2024年12月18日（水）15時～16時

形 式 ハイブリッド 時事通信ビル（JAAA会議室）、オンライン

内 容・CM素材オンライン送稿と字幕付きCMの最新状況

- ・放送局クラウド移行の進捗状況
- ・CMDeCoへの要望に関する対応状況
- ・質疑応答

参加者 48名 9社

③第10回 「JAAA素材搬入事業者情報共有会」

日 時 2025年3月19日（水）15時～16時

形 式 ハイブリッド 時事通信ビル（JAAA会議室）、オンライン

内 容・CM素材オンライン送稿と字幕付きCMの最新状況

- ・放送局クラウド移行の進捗状況
- ・「高知・テレビCMオンライン運用説明会」の実施報告
- ・質疑応答

参加者 42名 8社

・OOH新共通指標策定プロジェクト（日本版OOHマネジメント標準化検討準備委員会）

1. 会議の実施

社団法人の2025年度中の設立に向けて、意思決定者会議を毎月開催した他、「運営・資金調達WG」と「技術WG」の定例会を毎週実施、さらに集中討議の会議を計14回実施した。

2. 関係セミナー開催について

①デジタルサイネージジャパン

日 時 2024年6月14日（金）
会 場 幕張メッセ（千葉市）
テーマ「メジャメントの視点からOOHの未来を考える」

②JAAA会員社（広告会社）対象セミナー

日 時 2024年7月9日（火）15時30分～16時30分
形 式 オンライン

第一部「OOHの質的価値の探求」／第二部「OOH媒体の業界共通指標の策定」

③JAA会員社（広告主）対象セミナー

日 時 2024年9月9日（月）15時～16時
形 式 オンライン

第一部「OOHの質的価値の探求」／第二部「OOH媒体の業界共通指標の策定」

3. JAAへの中間報告

JAAに対して4月16日と7月26日にプロジェクトの中間報告を行った。

◆クリエイティブ委員会（担当理事：菊地英之 委員長：藤井久）

6月26日、9月26日、1月14日、3月6日

1. 委員の交替

能登 健裕（東急エージェンシー） ⇒ 高田 伸敏（同社）

新沢 崇幸（Wunderman Thompson Tokyo） ⇒ 有川 泰志（VML & Ogilvy Japan）

2. 委員の退任

多賀谷昌徳（グレイワールドワイド）

有川 泰志（VML & Ogilvy Japan）

3. 委員長の交替

委員長 藤井 久（博報堂）

4. 2023年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞発表・表彰について

①発表

第338回理事会（3月25日）の承認後、発表。

JAAAウェブサイトへの掲出、関係各所へのニュースリリース発送。

②表彰・臨時増刊号の発行

2024年5月31日（金）、定時総会、贈賞・表彰式にて表彰。

【表彰盾、メダル】

- ・2023年CREATOR OF THE YEAR 1名 …金盾
- ・2023年CREATOR OF THE YEAR MEDALIST 11名 …メダル

【JAAA REPORTS臨時増刊号】

「2023年クリエイターズ・オブ・ザ・イヤー特集（No.839）」制作

- ・発行日：2024年5月31日

- ・印刷部数：5,700部

- ・配布先：会員各社、関係団体、各地講演会参加者に配布。

5. 2023年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞 受賞者講演について

各地広告業協会と共に受賞者講演を実施、コーディネーターは濱委員（大広）が担当した。

①【東京】第87回JAAAクリエイティブ研究会

日 時 2024年9月25日（水）13時30分～16時

会 場 時事通信ホール（中央区）

講演者 高崎 卓馬（dentsu Japan／電通コーポレートワン）、
永井 貴浩（博報堂ケトル／博報堂）、村田 俊平（電通）

参加者 148名

②各地業協との研究会開催

（1）【名古屋】第73回名広協クリエイティブ研究会

日 時 2024年7月17日（水）14時～16時30分

会 場 JPタワー名古屋ホール&カンファレンス（名古屋市）

講演者 高崎 卓馬（dentsu Japan／電通コーポレートワン）、
原口 亮太（TBWA\HAKUHODO）、小島 翔太（博報堂）

参加者 95名

（2）【浜松】第20回SAAAクリエイティブ研究会

日 時 2024年10月7日（月）13時30分～16時

会 場 アクトシティ浜松（浜松市）

講演者 高崎 卓馬（dentsu Japan／電通コーポレートワン）、
永井 貴浩（博報堂ケトル／博報堂）、森井 聖浩（東急エージェンシー）

参加者 200名

（3）【大阪】第43回OAAAクリエイティブ研究会

日 時 2024年10月23日（水）13時30分～16時

会 場 大阪大学中之島センター（大阪市）

講演者 高崎 卓馬（dentsu Japan／電通コーポレートワン）、有元沙矢香（電通）、
松尾 昇（九州博報堂）

参加者 92名

（4）【札幌】第42回HAAAクリエイティブ研究会

日 時 2024年11月5日（火）13時30分～16時

会 場 札幌グランドホテル（札幌市）

講演者 高崎 卓馬（dentsu Japan／電通コーポレートワン）、
小布施典孝（dentsu Japan／電通コーポレートワン）、
片岡 良子（ADKマーケティング・ソリューションズ／CHERRY）

参加者 96名

（5）【福岡】第40回JAAAクリエイティブ研究会・福岡

日 時 2024年11月13日（木）18時～20時30分

会 場 エルガーラホール（福岡市）

講演者 高崎 卓馬（dentsu Japan／電通コーポレートワン）、
大石 将平（TBWA\HAKUHODO）、高橋 尚睦（読売広告社）

参加者 430名

(6) 【青森】あおもりアドセミナー2024 ※個別派遣依頼に対応

日 時 2024年10月10日（木）15時30分～17時

会 場 ねぶたの家ワ・ラッセ（青森市）

講演者 高崎 卓馬（dentsu Japan／電通コーポレートワン）

参加者 76名

(7) 【仙台】クリエイティブ研修会 ※個別派遣依頼に対応

日 時 2024年10月15日（火）14時～15時30分

会 場 せんだいメディアテーク（仙台市）

講演者 高崎 卓馬（dentsu Japan／電通コーポレートワン）

参加者 103名

(8) 【盛岡】岩手県広告業協会社員研修セミナー ※個別派遣依頼に対応

日 時 2024年11月20日（水）13時30分～16時

会 場 プラザおでって（盛岡市）

講演者 松尾 昇（九州博報堂）、他1名

参加者 106名

(9) 2024年度会員代表者懇談会

日 時 2024年12月9日（月）17時～19時30分

会 場 帝国ホテル（千代田区）

講演者 高崎 卓馬（dentsu Japan／電通コーポレートワン）、宮井 弘之（※懸賞論文金賞）

参加者 65名

(10) 【山形】山形県広告業協会主催「YAAA広告セミナー」 ※個別派遣依頼に対応

日 時 2025年1月21日（火）14時～17時30分

会 場 ホテルメトロポリタン山形（山形市）

講演者 永井 貴浩（博報堂ケトル／博報堂）、他1名

参加者 85名

(11) 【宇都宮】栃木県広告業協会主催研修会 ※個別派遣依頼に対応

日 時 2025年2月19日（水）14時30分～16時

会 場 栃木県総合文化センター（宇都宮市）

講演者 高崎 卓馬（dentsu Japan／電通コーポレートワン）

参加者 60名

6. アドミュージアム東京 ライブラリー展示について

会 期 2025年1月10日（金）～3月29日（土）

会 場 アドミュージアム東京 ライブラリー展示スペース（港区）

タイトル「2023年 クリエイター・オブ・ザ・イヤー受賞者12人の本棚『オトナ読書』」

概 要 クリエイター・オブ・ザ・イヤー2023受賞者12名による選書の紹介と下記の展示

- ・本の中で印象に残った／紹介したい一文
- ・選書へのコメント
- ・20歳頃の写真

・自宅の本棚の写真

制作物 企画タイトルポスター、賞説明パネル、書籍展示のPOPなど

制作担当社 VML & Ogilvy Japan

7. 2024年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞について

募集期間 2024年12月2日（月）～2025年1月31日（金）

募集ビジュアル制作担当 日本経済社

ノミネート数 28名 21社

スケジュール 2024年12月2日（月） エントリー受付開始

2025年1月31日（金） 募集締切

3月 6日（木） 審査会、クリエイティブ委員会

3月24日（月） 第343回理事会、受賞者発表

5月30日（金） 2025年度定時総会・表彰式

JAAA REPORTS臨時増刊号発行

審査員 松井 亘平（I&S BBDO）

山極 和弘（朝日広告社）

竺山愉里子（VML & Ogilvy Japan）

細川 万理（ADKマーケティング・ソリューションズ）

岡林 和也（クオラス）

浅井 芳樹（三晃社）

長谷川羊介（ジェイアール東日本企画）

石井 智（第一通信社）

濱 弘幸（大広）

西橋佐知子（電通）※審査員長

堀内有為子（東急エージェンシー）

朝比奈 綾（日本経済社）

佐々木貴子（博報堂）

藏田 泰明（マッキヤンエリクソン）

竹中 愛（読売広告社）

審査 28名（21社）のノミネートがあり、審査員は提出された「審査資料」と「応募動画」を、規約で定めた審査基準に基づいて事前審査を実施した。審査会当日は、事前審査の結果をもとに協議と票決を行い、クリエイター・オブ・ザ・イヤー1名と、クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト10名を選出した。

8. クリエイティブ委員会の活動に関する検討について

以下の内容について、次年度以降も継続して検討していくこととした。

①クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の見直し：賞及びクライテリアの位置づけの再検討等

②JAAAの他の委員会とのコラボレーション等を行い、広告業界を取り巻く様々な課題を、委員会横断的に連携して対応

③クリエイティブ委員会としての新しい活動：新しいテーマや活動についての検討（AI、脱炭素化等）。

◆マネジメント委員会（担当理事：高坂俊之）

傘下の8つの事業委員会を通じて、広告業界全体のマネジメント課題の共有を行った。

・人材育成委員会（委員長：太田理奈子）

7月18日、12月20日、3月11日

1. 委員の交替

中条美由紀（I&S BBDO） ⇒ 崎谷 俊彦（同社） ⇒ 近藤しほ美（同社）
永井 大雅（ADKホールディングス） ⇒ 甲斐雄一郎（同社）
小川 達也（電通コーポレートワン） ⇒ 松澤 美穂（同社）
加藤 千絵（東急エージェンシー） ⇒ 庄司由美子（同社）
砂山 益久（日本経済社） ⇒ 寺内 研二（同社）
莊司 康友（博報堂DYホールディングス） ⇒ 恒川 洋一（同社）

2. 第51回新入社員教育セミナー実施報告

日 程 2024年4月2日（火）～4月5日（金） 9時30分～16時30分（4日間）

形 式 1日目～3日目はオンライン講義

4日目は機械振興会館（港区）にてグループディスカッションを実施

参加費 44,000円（1名税込）

参加者 123名 24社

内 容・テキストとして『広告ビジネス入門第25版』を使用

・グループディスカッションのテーマ：「5年後の広告業界をより発展させるアイデアを考える」

3. 第29回フォローアップセミナー実施報告

4月の新入社員教育セミナーの受講者を主な対象に、入社約半年後のフォローアップとして実施した。

日 程 2024年11月14日（木）～11月15日（金） 10時～16時（2日間）

会 場 機械振興会館（港区）

参加費 33,000円（1名税込）

参加者 50名 11社

テーマ「広告のミライを考える」

構 成 1日目：「先輩社員」によるパネルセッションと受講者間のグループディスカッション

「先輩社員」パネラー 藤田 千尋（ジェイアール東日本企画）

高津 颯真（東急エージェンシー）

天木 柚里（日本経済社）

塩見ありさ（メトロアドエージェンシー）

2日目：講義、ワークショップ、グループ発表、講評

ファシリテーター 堂上 研（ECOTONE 代表取締役社長／「Wellulu」編集長）

・広告ビジネス入門発行委員会（委員長：恒川洋一）

5月21日、7月16日

1. 委員の交替

加藤 千絵（東急エージェンシー） ⇒ 庄司由美子（同社）

庄司 康友（博報堂DYホールディングス） ⇒ 恒川 洋一（同社）

2. 委員長の交替

委員長 恒川 洋一（博報堂DYホールディングス）

3. 『広告ビジネス入門第25版』発行

発行日 2024年9月20日（金）

版 形 A4判 226頁

発行部数 4,000部

頒布価格（税込） 会員1,980円、関係団体3,300円、一般4,400円

・懸賞論文委員会（委員長：宇賀神貴宏）

4月18日、10月10日、1月16日、2月28日

1. 委員の交替

大城 勝浩（朝日広告社） ⇒ 川津 絹代（同社）

片倉 淳子（大広） ⇒ 吉野 究（同社）

松本 彰子（電通） ⇒ 小松 祐子（同社）

深澤 博（日本経済社） ⇒ 神田 貴志（同社）

2. 委員長の交替

委員長 宇賀神貴宏（ADKマーケティング・ソリューションズ）

3. 第53回懸賞論文について

①表彰式

日 時 2024年5月31日（金）（本協会定時総会 贈賞・表彰式）

会 場 東京会館（千代田区）

②入賞・入選

『論文』課題「広告の新しい姿」

金賞 1編（1名）／銅賞 2編（2名）

『私の言いたいこと』

一般部門 第1テーマ（「広告ビジネス」） 2編（2名）

第2テーマ（「広告プランニング」） 3編（3名）

新人部門（テーマ自由） 3編（3名）

③入賞・入選作品集の発行

【JAAA REPORTS臨時増刊号】

「第53回懸賞論文 入賞・入選作品集（No.838）」制作

・発行日：2024年5月31日

・印刷部数：4,600部

・配布先：応募者、会員各社、広告主、媒体社、関係団体、広告学会関係者等に配布。

④広報施策

- ・「入賞・入選作品集」の一部をJAAAウェブサイトにPDF掲載
- ・ファイナリストの作品をJAAAウェブサイトにPDF掲載
- ・ファイナリスト28名に対して「JAAA懸賞論文」名入りの図書カードを進呈
- ・伝会議「AdverTimes. (アドタイ)」に金賞の要旨を掲載 他

4. 第54回懸賞論文募集・審査について

①募集ポスター・バナー等の制作について

制作担当社 ADKマーケティング・ソリューションズ
募集コピー「それでも広告が好き」

②課題・テーマ

『論文』課題「Beyond Advertising」

『私の言いたいこと』

一般部門 第1テーマ～第3テーマのいずれかを選択

第1テーマ「広告・広告ビジネスと社会」

第2テーマ「広告プランニング・ソリューション」

第3テーマ「会社組織や会社内の課題」

新人部門 テーマ自由（応募時26歳まで）

プレゼン動画部門 テーマは一般部門（第1～第3テーマ）のいずれかを選択

③募集期間 2024年6月1日（土）～9月30日（月）

④審査スケジュール

第1次審査 2024年10月～2025年1月

第2次審査 2025年1月～2025年2月

最終審査会 2025年2月27日（木）～2月28日（金）

⑤応募総数 291編

内 訳 * ()は昨年第53回

『論文』 27編 (34編)

『私の言いたいこと』

一般部門 第1テーマ 35編 (33編)

第2テーマ 13編 (18編)

第3テーマ 19編

一般部門合計 67編 (51編)

新人部門 196編 (162編)

プレゼン動画部門 1編 (1編)

総計 291編 (248編)

⑥審査結果

2025年2月27日（木）、2月28日（金）に最終審査会を実施し、受賞者8名（9編）、ファイナリスト25名を選出した。

<入賞・入選>

『論文』課題「Beyond Advertising」

金賞 1編（1名）／銀賞 1編（1名）／銅賞 1編（1名）

『私の言いたいこと』

一般部門 第1テーマ 1編（1名）

第2テーマ 該当なし

第3テーマ 2編（2名）

新人部門 3編（3名）

プレゼン動画部門 該当なし

⑦応募促進に向けた取り組み

（1）SNS広報施策

「JAAA懸賞論文（公式）珠玉のワンフレーズ」

委員より寄せられた“珠玉のワンフレーズ”を投稿した。

実施期間 2024年7月2日（水）～9月19日（金）

X（エックス）総インプレッション数 3,211

（2）エントリー説明会

懸賞論文に応募を検討している方や社内教育担当の方を対象に開催、終了後に動画をJAAAウェブサイト会員ページに掲載した。

日 時 2024年7月4日（木）15時30分～16時40分

形 式 オンライン

テーマ「受賞作品と自身の応募の取り組みについて」

講 師 宮井 弘之（博報堂／金賞）

吉永 諒子（朝日広告社／一般部門入選）

向井 俊介（日本経済広告社／一般部門入選）

大島ももあ（読売広告社／新人部門入選）

参加者 112名 24社

（3）新人座談会

第53回懸賞論文新人部門入選者3名とファイナリスト3名による座談会を開催、終了後に動画をJAAAウェブサイト会員ページに掲載した。

日 時 2024年6月3日（月）14時～16時

形 式 オンライン

テーマ「私は言いたい。広告業界のここが好きだ＆嫌いだ～第53回懸賞論文『私の言いたいこと』新人部門入選者・ファイナリストの本音にせまる～」

ファシリテーター 河尻 亨一（編集者、銀河ライター主宰）

登壇者 曽我 大晴（博報堂／新人部門入選）

稻葉 巧（博報堂／新人部門入選）

大島ももあ（読売広告社／新人部門入選）

川路 朋佳（日本経済社／新人部門ファイナリスト）

福井優香子（ADKマーケティング・ソリューションズ／新人部門ファイナリスト）

水 七海（アクセント／新人部門ファイナリスト）

参加者 88名

(4) 受賞者座談会

第53回懸賞論文金賞と銅賞の受賞者による座談会を開催、終了後に動画をJAAAウェブサイト会員ページに掲載した。

日 時 2024年8月1日（木）14時～15時30分

形 式 オンライン

テーマ「『近い将来、広告の姿かたはどうなっていく？』～第53回懸賞論文 課題『広告の新しい姿』受賞作より紐解く～受賞者座談会」

ファシリテーター 河尻 亨一（編集者、銀河ライター主宰）

登壇者 宮井 弘之（博報堂／金賞）

小糸 和夫（電通／銅賞）

福永 琢磨（電通／銅賞）

参加者 109名

(5) 応募者へのアンケートの実施

第54回懸賞論文の応募者に対して、応募のレギュレーションに関するアンケートを実施した。

期 間 2024年10月15日（火）～10月31日（木）

回答数 176件

⑧受賞者講演

(1) 栃木県広告業協会研修会

日 時 2024年10月31日（木）

会 場 栃木県総合文化センター（宇都宮市）

講 師 福永 琢磨（電通／銅賞 * 第52回金賞）

参加者 70名

(2) 岩手県広告業協会社員研修セミナー

日 時 2024年11月20日（水）

会 場 プラザおでって（盛岡市）

講 師 吉永 諒子（朝日広告社／一般部門入選）

参加者 106名

(3) 2024年度会員代表者懇談会

日 時 2024年12月9日（月）

会 場 帝国ホテル（千代田区）

講 師 宮井 弘之（博報堂／金賞）、高崎 卓馬（※2023年クリエイター・オブ・ザ・イヤー）

参加者 65名

・海外交流委員会（委員長：渡辺学）

7月2日、9月5日、2月4日

1. 委員の交替

高橋 修（博報堂） ⇒ 三科 浩美（同社）

大木美代子（マッキヤンエリクソン） ⇒ 森 貴枝子（同社）

2. 委員の退任

千島 航太（オプト）

佐藤 紗子（Wunderman Thompson Tokyo）

3. 委員の就任

瀧谷 明弘（ケー・アンド・エル）

4. 委員長の交替

委員長 渡辺 学（日本経済広告社）

5. 海外研修について

①スパイクスアジア2024研修ツアーのまとめ

2024年3月に実施したスパイクスアジア2024研修ツアー終了後に参加者による研修レポートをまとめ、5月1日よりJAAAウェブサイトに掲載した。

②2024年度海外研修企画について

2025年3月のスパイクスアジアの開催を想定し、2024年11月からの募集開始に向け準備したが、公式日程発表が2025年1月まで行われなかつたため企画・準備が間に合わず、2024年度の研修ツアーは見送ることとした。

6. 海外交流委員会企画セミナーの実施

①テーマ「日本と海外のPBパッケージデザインの違いと世界の潮流」

日 時 2024年10月31日（木）14時～15時

形 式 オンライン

講 師 喜多野 審（モメンタムジャパン クリエイティブディレクター）

参加者 105名 57社

②テーマ「Cannes Lions そして、Spikes Asiaから学ぶこと」

日 時 2024年11月20日（水）16時30分～17時30分

形 式 オンライン

講 師 細田 高広（TBWA\HAKUHODO Chief Creative Officer、執行役員）

参加者 151名 39社

③テーマ「CES2025報告会」

日 時 2025年3月4日（火）16時30分～17時30分

形 式 オンライン

講 師 山本 泰士（博報堂DYメディアパートナーズ メディア環境研究所

グループマネージャー兼上席研究員）

参加者 149名 84社

7. 海外広告関係団体への協力

①アドバタイジング・ウィーク・アジア2024（AWA）への協力

日 程 2024年9月17日（火）～20日（金）

場 所 東京アメリカンクラブ（港区）

カウンシルメンバーの推薦について……AWA事務局からJAAAに対してカウンシルメンバーの推薦依頼があり、海外交流委員会委員各社に就任検討を依頼した結果、2024年7月17日付で横田明日香氏（VML & Ogilvy Japan Managing Director）を推薦した。

②AWAセッションの開催

期間中にJAAAのDE&I委員会のセッションを実施した。

日 時 2024年9月20日（金）13時30分～14時10分

・イノベーション委員会（委員長：高崎敦士）

1. 委員の交替

佐取 亜紀（朝日広告社） ⇒ 芥川 正翔（同社）

岡本 茂（博報堂） ⇒ 荒川 有輝（同社）

白崎 薫（マッキヤンエリクソン） ⇒ 佐藤 有途（同社）

2. 委員長の交替

委員長 高崎 敦士（※「第12回 広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞」審査委員長）

3. 「第12回 広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞（JAAA若手大賞）」ワーキンググループメンバーの交替

WGメンバーの任期が最大で2年間であるため、任期を迎えたメンバーの推薦を行い、また、WGで企画した募集ビジュアルについての確認や審査結果の承認等を行った。

大山エミリー（朝日広告社） ⇒ 片岡龍太郎（同社）

佐藤 陸（ADKマーケティング・ソリューションズ） ⇒ 高石 数馬（同社）

櫻井 咲人（大広） ⇒ 花田 光希（同社）

小林 千秋（電通） ⇒ 中村 彩梨（同社）

大町 陸（東急エージェンシー） ⇒ 石川 裕也（同社）

江口 省悟（博報堂） ⇒ 白坂 太秀（同社）

伊達 習人（マッキヤンエリクソン） ⇒ 内堀 優輝（同社）

浅野 楓芽（メトロアドエージェンシー） ⇒ 金子 祐梨（同社）

境 大空（メトロアドエージェンシー） ⇒ 田村孝太郎（同社）

田畠 良（読売広告社） ⇒ 岩切 拓史（同社）

4. 「第12回JAAA若手大賞」募集・審査・発表について

①募集期間 2024年10月1日（火）～10月31日（木）

②応募総数 203件

③審査会 第1次審査会 2024年11月22日（金）

第2次審査会 2024年12月10日（火）

最終審査会 2024年12月20日（金）、2025年1月30日（木）

④審査結果 大賞1件、優秀賞5件、ファイナリスト7件

5. 本賞PRイベントの実施

イベント名「第12回JAAA若手大賞 PRイベント『広告若手の忘年会』～応募者限定アフターアイベント～」

日 程 2024年12月16日（月）

会 場 ジェイアール東日本企画本社（渋谷区）

内 容 第一部：トークセッション

登壇者 関谷“アネーロ”拓巳（TBWA\HAKUHODO）

小林 亮太（ジェイアール東日本企画）

古林 萌実（東急エージェンシー）

第二部：交流会

参加者 35名

・PR委員会（委員長：山崎正道）

11月27日、1月16日、3月7日

1. 委員の交替

石田 心平（ADKホールディングス） ⇒ 伊藤 英理（同社）

大木美代子（マッキンエリクソン） ⇒ 飯嶋 玲子（同社）

2. 「広告の広告」2024年度原稿の掲載期間の延長について

以下の掲載協力について、日本新聞協会、日本雑誌協会、日本雑誌広告協会に継続を依頼した。

担当社 マッキンエリクソン／クラフトワールドワイド

デザインテーマ「Real Advertising」（インタビューに基づくコピーを用いたデザイン）

3. 日本広告業協会創立75周年記念事業について

創立75周年記念事業について、PR委員会がサポートしていくこととなり、2025年度での実施に向けて協会事務局とクリエイターチームからの企画案等を検討した。

・会報編集委員会（委員長：高澤正行）

6月25日、10月8日、1月20日

1. 委員の交替

本田 達弥（ADKマーケティング・ソリューションズ／ADKクリエイティブ・ワン）

⇒ 大沢 幸代（ADKホールディングス）

田代 憲（読売広告社） ⇒ 佐々木亜弓（同社）

2. 委員の退任

市田 大吾（GMOアドパートナーズ）

3. 会報「JAAA REPORTS」発行規模

形 態 B5判 12ページ

発行日 毎月1日

部 数 3,400部

配布先 会員社、各地区広告業協会、関係団体、広告学会・広研、業界誌紙、官公庁、
その他、掲載誌・保管用等

4. 基本企画

・表紙（制作：読売広告社） 表1・表4

・ビジュアル・トピック 表2

・ひと・こと P 1

・目次 P 1

・特集 P 2～P 9

・広告会社のサステナビリティ経営 P 10

- ・知ってトクする！広告人のための法律知識 P 11

- ・JAAA会員社巡り。 P 12

- ・Information P 12

- ・協会活動 P 12

5. 2024年度特集企画

- ・4月号 「第11回 JAAA若手大賞 審査結果発表」

- ・5月号 「ミラスト」～バックキャスティングによる「意志」の発見が、ブランドの可能性をひらく

- ・6月号 もはや「ブーム」ではない～日本に韓流が根付いた背景とその魅力～

- ・7月号 2024年度定時総会報告

- ・8月号 生成AI最前線

- ・9月号 カンヌライオンズ2024レポート～社会課題解決は、啓蒙から“実効性”へ。そして、ヒューマニティ＆ヒューモアが、イベント全体の傾向。～

- ・10月号 広告を見ないことに課金する時代の広告のあり方

- ・11月号 昭和生まれの上司が、令和の部下と向き合うために必要な3つのこと

- ・12月号 a世代の教育活動から考える10年後の広告の未来とは

- ・1月号 理事長・副理事長「新春のひと・こと」／広告会社的年賀状

- ・2月号 体験型エンタメ・没入体験の市場分析から読み解く、IPビジネスの未来

- ・3月号 「わたしたちのクリエイティビティ」

6. 会報「JAAA REPORTS」ウェブ化プロジェクトについて

会報編集委員会の方針案として、2025年度は冊子での会報発行を年6回（4月・7月・9月・11月・1月・3月）とし、理事会にて承認された。さらに2026年度以降は完全ウェブ化を目指すこととした。

①2025年度構想

<冊子>

- ・4月号 「第12回 JAAA若手大賞 審査結果発表」

- ・7月号 2025年度定時総会報告

- ・9月号 カンヌライオンズ2025レポート

- ・11月号 ※未定

- ・1月号 「新春のひと・こと」等新春企画

- ・3月号 「冊子総括ページ（仮）」

<ウェブ>

- ・毎月初 1回更新

- ・検索機能を追加

・DE&I委員会（委員長：口羽敦子）

5月29日、7月2日、10月15日、2月25日

1. 委員の交替

伊藤 裕子（ADKホールディングス） ⇒ 栗崎 詩菜（同社）

狗飼 豊（博報堂） ⇒ 船越 啓（同社）

2. 委員の就任

高橋 玲子（朝日広告社）

生嶋 花織（オプト）

菅原 智華（オプト）

松岡 弘樹（グレイワールドワイド）

町田 葉子（東急エージェンシー）

庄司由美子（東急エージェンシー）

森 貴枝子（マッキヤンエリクソン）

中澤 清美（読売広告社）

3. 委員の退任

松岡 弘樹（グレイワールドワイド）

4. イベント、セミナーの実施

①「広告業界、LGBTQ+のリアル～当事者がいない職場はない。みなさんに知ってほしいこと～」

日 時 2024年7月10日（水）16時～17時

形 式 オンライン

ファシリテーター 半澤絵里奈（委員／電通グループ／dentsu Japan）

登壇者 森永 貴彦（大広 未来開発局インキュベーションセンター／株式会社LGBT研究所
代表取締役）

杉山 優（電通コーポレートワン 人事オフィスDEIコンサルタント）

対 象 JAAA会員社社員限定

②アドバタイジング・ウィーク・アジア2024（AWA）セッション

日 時 2024年9月20日（金）13時30分～14時10分

場 所 東京アメリカンクラブ（港区）

テーマ「世界の視点から、アンステレオタイプを考える UNWomen × JAAA」

企画協力 UNWomen（国連女性機関）アンステレオタイプアライアンス

登壇者 市川 桂子（UNWomen 日本事務所 広報・アドボカシード）

菅原 智華（委員／オプト）

松岡 弘樹（委員／グレイワールドワイド）

③「DE&I クロストーク」

日 時 2024年11月12日（火）

場 所 University of Creativity 大マンダラ（博報堂内・港区）

テーマ「広告×メディアのみんなで考える、私たちを取り巻くジェンダーの課題」

内 容 キーノートセッション「広告×メディアのみんなで考える、私たちを取り巻くジェンダーの課題」、参加者によるクロストークの実施

ファシリテーター 細谷由美子（委員／大広）

登壇者 浜田 敬子（ジャーナリスト）
イベントロゴ制作社 東急エージェンシー
企 画 中島 静佳（委員／博報堂DYホールディングス）
参加者 33名 21社（広告会社16社、メディア各社5社）
その他 セッションレポートをJAAAウェブサイトに掲載

④「男性育休オンラインイベント」

日 時 2025年3月5日（水）14時～15時30分

形 式 オンライン

テーマ 「法改正直前！広告会社において男性育休をより前進させるには？」

内 容 第1部 法改正を踏まえた男性育休の意義について

講 師 一ノ瀬幸生（セントワーズ ワーク・ライフバランスコンサルタント）

第2部 広告会社人事担当者の課題・取組み・悩みとは？

ファシリテーター 中澤 清美（委員／読売広告社）

登壇者 茅原 匠（オリコム）

中村 真耶（テー・オー・ダブリュー）

橋本 絵美（博報堂コーポレートイニシアティブ）

楠本 雄輝（読売広告社）

参加者 73名 29社

4. 事務局運営報告

（1）入会

・2024年4月1日付

株式会社チョコレイト

（2）会員社社名変更

・2024年7月1日付

株式会社アドベル ⇒ 株式会社神奈中商事

株式会社ジェイアール東海エージェンシー ⇒ 株式会社JR東海エージェンシー

・2024年10月1日付

株式会社朝日オリコミ ⇒ 株式会社朝日コネクト

（3）退会

・2024年9月30日付

メディアエムジー株式会社

・2024年10月31日付

株式会社グレイワールドワイド

・2024年12月31日付

GMOアドパートナーズ株式会社
・2025年3月31日付
VML & Ogilvy Japan合同会社
株式会社栄光社
大東廣告株式会社
株式会社伝々虫
株式会社日本広明社

(4) 特別勉強会

当協会会員の会員代表者及び各委員会委員長、副委員長に向けて特別勉強会を開催した。

日 時 2024年4月25日（木）14時45分（第339回理事会終了後）～16時
場 所 帝国ホテル 本館3階・鶴の間（千代田区）
講 師 古田 豪見（電通グループ グループサステナビリティオフィス
シニア・ディレクター）
竹嶋 理恵（電通 サステナビリティコンサルティング室
エグゼクティブ・プランニングディレクター）
荒木 丈志（電通 パブリック・アカウント・センター シニア・プロデューサー）
テーマ 講演「脱炭素化の中で広告業界はどう生き残るか？」
参加者 47名

(5) 日本広告業協会事務局の移転

移転前の住所 東京都中央区銀座七丁目 4番17号 電通銀座ビル 8階
移転後の住所 東京都中央区銀座五丁目15番 8号 時事通信ビル11階
移転日 2024年8月5日

(6) 2024年度会員代表者懇談会

当協会会員の会員代表者による代表者懇談会を下記のテーマによる講演と着席ブッフェにて開催した。

日 時 2024年12月9日（月）17時～19時30分
会 場 帝国ホテル 本館4階・桜の間（千代田区）
講 演 ◆「生活者は広告人となり、社会そのものがメディアとなる」
 宮井 弘之（第53回懸賞論文 金賞 博報堂）
 ◆「広告のこれから」
 高崎 卓馬（2023年クリエイター・オブ・ザ・イヤー
 dentsu Japan／電通コーポレートワン）
参加者 65名

(7) 全国広告業団体連絡会議

・令和5年度後期情報連絡会を4月26日に電通銀座ビルにて、加盟22団体の内18団体が参加し

て開催。各団体现況報告を中心に情報交換を行った。

- ・令和6年度理事会・総会・前期情報連絡会を10月4日にコートヤード・マリオット銀座東武ホテルにて、13時30分より加盟22団体の内18団体が参加して開催。各団体现況報告を中心に情報交換を行った。また、17時30分からの理事会・総会では、第1号議案「令和5年度事業報告並びに収支決算報告承認の件」、第2号議案「令和6年度事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件」が承認された。

（8）広告料金表2024年版の発行

- ・「新聞広告料金表2024年版」

発行日 2024年7月1日

版 形 B6判横 269頁

印刷部数 1,400部

頒布価格（税込） 会員1,320円、一般2,640円

- ・「放送広告料金表2024年版」

発行日 2024年10月1日

版 形 A5判横 176頁

印刷部数 1,100部

頒布価格（税込） 会員1,320円、一般2,640円

（9）令和7年広告界合同年賀会

日 時 2025年1月8日（水）15時30分～17時

会 場 帝国ホテル 孔雀の間（千代田区）

（10）セーフティネット保証5号

業況の悪化している業種に属する事業を行う中小企業者を対象とするセーフティネット保証5号について、経済産業省は日本標準産業分類（令和5年7月改定）細分類番号7311で「広告業」を下記期間で指定した。

指定期間：令和6年10月1日～令和7年3月31日

（11）デジタルメディア上における詐欺広告について

5月17日に、日本アドバタイザーズ協会が、「社会問題化するデジタルメディア上の詐欺広告に対する緊急提言」を発出し、今般顕著に社会問題となっているいわゆる詐欺広告・なりすまし広告について、プラットフォーマー、テクノロジーパートナーとメディア、アドバタイザーの各関係者に対して速やかな対応と対策を求めたことに呼応して、同日当協会も緊急提言に対する賛同と広告業界全体での取り組みの強化を声明として発表した。

（12）総務省「デジタル空間における情報流通の諸課題への対処に関する検討会」

デジタル広告ワーキンググループについて

＜第4回＞ 2024年12月10日（火）

＜第5回＞ 2025年1月22日（水）

＜第6回＞ 2025年2月17日（月）

＜第7回＞ 2025年3月3日（月）

＜第8回＞ 2025年3月24日（月）

形式 オンライン

総務省の依頼を受け、標記の会合に第4回から参加した。第4回では「広告関係団体ヒアリング」として、当協会の概要と、デジタル広告市場における「広告の質の確保に向けた取り組み」「(広告主向け)ガイドライン策定における留意ポイント」について、当協会高品専務理事とインターネット広告委員会の清水康隆委員（博報堂DYメディアパートナーズ）よりプレゼンテーションを行った。

（13）「新聞折込広告活用セミナー」の開催について

新聞折込広告の価値や活用手法を再発見し、提案機会や活用機会の拡大を目的に、一般社団法人日本新聞折込広告業協会（J-NOA）との共催で、「新聞折込広告活用セミナー」を開催した。

共 催 日本新聞折込広告業協会（J-NOA）、JAAA

日 時 2024年11月28日（木）13時30分～15時

形 式 オンライン

内 容 第1部「『J-NOAメディア調査2024』概要と今後の展開」

講 師 河野大児郎（J-NOAマーケティング委員会／読売IS）

第2部「デジタル時代における新たな新聞折込の活用手法」

講 師 小岩 幸太（カルビー マーケティング本部 miinoチーム ブランドマネージャー）

出来 宏崇（ベルーナ マーケティング本部 マーケティング室 係長）

モデレーター 鷹野 寛之（J-NOAマーケティング委員会／オリコミサービス（現 evolia））

（14）「脱炭素化研究会」の設置と活動について

9月5日に臨時運営委員会を実施し、脱炭素化に取り組んでいる会員社からメンバーを募り「脱炭素化研究会」を組成した。本研究会はカーボンニュートラルについての算定ルールやツールの策定等を目的に活動を行った。

・研究会の実施

第1回 2024年11月15日（金）

第2回 2024年12月17日（火）

第3回 2025年1月23日（木）

第4回 2025年2月20日（木）

第5回 2025年3月18日（火）

研究会の他に、随時リーダーレベルのミーティングと、日本イベント産業振興協会（JACE）、日本アド・コンテンツ制作協会（JAC）との情報共有会議を実施した。

- ・メンバーリスト（◎：リーダー、○：サブリーダー）
 - 土屋信太郎（朝日広告社）
 - 川原 美佳（ADKホールディングス）
 - 岡本 光郎（オリコム）
 - 水科 宗作（オリコム）
 - 稻葉 大（オリコム）
 - 宮崎 陽子（セプテニ）
 - 原 孝幸（大広）
 - 水野 綾子（大広）
 - 二階 晋平（TBWA\HAKUHODO）
 - 木村 充慶（TBWA\HAKUHODO）
 - 口羽 敦子（電通グループ）
 - ◎古田 豪見（電通グループ）
 - 井上 佳苗（電通グループ）
 - 中島 静佳（博報堂DYホールディングス）
 - 中溝 修平（博報堂DYホールディングス）
 - 奥村 裕吾（博報堂）
 - 権 尚子（マッキヤンエリクソン）
 - 森 貴枝子（マッキヤンエリクソン）
 - 石川 靖明（読売広告社）

（15）職員の採用

2025年1月1日付

武田慎太郎

2024年度 贈賞・表彰報告

第54回懸賞論文 入賞・入選者

「論文」課題：「Beyond Advertising」

- 金賞 福永 琢磨** 『自分で考える楽しさを、民主化する。～広告人は思考の社会インフラへ～』
電通 BX クリエイティブ・センター エクスペリエンス・デザイン部
ライター コピーライター 電通 Team SDGs SDGs コンサルタント
- 銀賞 小糸 和夫** 『「正しい」から「面白い」へ、殻を破る新成長戦略—広告人よ、社会のアントレプレナーたれ—』
電通 コーポレートオフィス ビジネス・コンサルタント
- 銅賞 鈴木 崇太** 『組織を変革する広告』
電通デジタル マーケティングコミュニケーション領域
ソーシャルエンゲージメントデザイン部門 第2プランニング部 シニアプランナー

「私の言いたいこと」一般部門

第1テーマ 広告・広告ビジネスと社会

- 入選 福永 琢磨** 『日本に、本当に効くパーザスを根付かせる～言語と思考と文化のちがいを超えて～』
電通 BX クリエイティブ・センター エクスペリエンス・デザイン部
ライター コピーライター 電通 Team SDGs SDGs コンサルタント

第3テーマ 会社組織や会社内の課題

- 入選 菊池奈穂子** 『広告業界における、女性活躍と持続可能な労働環境の両立』
電通 第5CR プランニング局 総合クリエイティブ2部 コピーライター
- 入選 柚木 夏希** 『ダイレクト広告が誰にとっても“好きな広告”になるために～働く人の私的倫理を守り育てる～』
朝日広告社 IMC ソリューション本部 デジタルソリューション局
デジタルアカウント部 プランナー

「私の言いたいこと」新人部門 テーマ：自由

- 入選 木村 瑞月** 『東日本大震災からみる「物語化」の暴力性と私たちの使命』
博報堂 マーケットデザイン事業ユニット クリエイティブ局 石下チーム コピーライター
- 入選 高田倫太郎** 『言語から広告へ、「ポライテス理論」の拡張——両極端の「フェイス」をもつZ世代を解きほぐす』
日本経済広告社 CPD局 2部 1ルーム プランナー
- 入選 河野 瑞夏** 『「クリアする」広告というアイデンティティ・ポリティクス』
電通 第8マーケティング局 グローバルプランディング2部 プランナー

2024年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞 受賞者

2024 CREATOR OF THE YEAR

宮永 充晃 博報堂 クリエイティブ局 宮永チーム クリエイティブ・ディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- PPIH「ドン・キホーテ」
- PPIH「情熱価格・偏愛めし」
- PPIH「ダメ出しの殿堂・マジボイス」
- TWINBIRD「匠 Premium」ほか

2024 CREATOR OF THE YEAR MEDALIST

石塚 啓 電通デジタル クリエイティブディレクター／コピーライター

【主なクリエイティブワーク】

- Think Name Project「#2531 佐藤さん問題」
- タウグローバルプランディング ほか

原田 堅介 ADK マーケティング・ソリューションズ／CHERRY クリエイティブ・ディレクター／CM プランナー／コピーライター

【主なクリエイティブワーク】

- すしのこ ラジオ CM「OTOMORE」「かけがえのない友達」
- パラレル「青春看板シリーズ」ほか

星 聰宏 ADK マーケティング・ソリューションズ クリエイティブ・ディレクター／コピーライター

【主なクリエイティブワーク】

- AC ジャパン「聞こえてきた声」
- 三菱電機「しあわせをシェアしよう」ほか

松田 優 電通東日本 コミュニケーションデザイン局 クリエイティブディレクター／コピーライター

【主なクリエイティブワーク】

- 栗山米菴 濑戸しお「どうやらうまいらしい」
- 第一興商 DAM30TH「1,000 銘柄」ほか

花田 礼 電通 Creative KANSAI クリエイティブ・ディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- 日本マクドナルド「特別じゃない、しあわせな時間。」
- ユニバーサル・スタジオ・ジャパン「ユニ春／ユニハロ」ほか

杉山 芽衣 博報堂 アクティベーションディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- JO1「CD を売らない CD ショップ JO1 MART」
- キリンビール 晴れ風 アクティベーション ほか

小野寺 正人 チョコレイ特 クリエイティブディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- ポケモン「POKÉDANCE」
- サントリー「伊右衛門の車窓にて」ほか

春山 豊 九州博報堂 クリエイティブ局 クリエイティブ二部 コピーライター

【主なクリエイティブワーク】

- 南陽「ジャンケン」
- LAWSON × HAWKS「熱弁プロジェクト」ほか

尾上 永晃 電通 フューチャークリエイティブリード室 プランナー／エグゼクティブクリエイティブディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- 森永乳業 マウントレーニア「もしも東京の真ん中に、山があったら。」
- 味の素 Cook Do® オイスターソース「レタス保存用新聞」ほか

山口 千乃 TBWA\HAKUHODO Disruption Lab Senior Copywriter

【主なクリエイティブワーク】

- 日本マクドナルド「オードリーのオールナイトマック」
- 講談社「World meets KODANSHA」「MANGA MANNERS」ほか

第12回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞」(JAAA若手大賞)

大賞

■水曜日のダウンタウン「インフォマー1GP(グランプリ)」

施策主体：株式会社TBSテレビ

協力：日本コカ・コーラ株式会社

推薦者：湯澤 花帆(東急エージェンシー)

優秀賞

■「バーガーキングを増やそう」キャンペーン

施策主体：株式会社ビーケージャパンホールディングス

推薦者：石原 混士(ジェイアール東日本企画)、高橋 花那子(ジェイアール東日本企画)、

横尾 里奈(ジェイアール東日本企画)、渋谷 有亮(東急エージェンシー)、阿部 葉土(読売広告社)、

吉永 彩(読売広告社)

■#これ誰にお礼言つたらいいですか

施策主体：パーソルホールディングス株式会社

推薦者：中野 美葉(ADKクリエイティブ・ワン)、武部 可夏子(電通)

■冷凍餃子フライパンチャレンジ

施策主体：味の素冷凍食品株式会社／株式会社本田事務所

推薦者：高橋 花耶子(ジェイアール東日本企画)、難波江 侑矢(読売広告社)

■特茶しか

施策主体：サントリー食品インターナショナル株式会社

推薦者：木村 俊太郎

■ジャンプコミックス「呪術廻戦」27巻プロモーション

施策主体：株式会社集英社

推薦者：上林 右近(東急エージェンシー)、小嶋 祐史郎(東急エージェンシー)、石井 陽大(とうこう・あい)

ファイナリスト

■オードリーのオールナイトマック

施策主体：日本マクドナルド株式会社

推薦者：岩下 耀(東急エージェンシー)、浅見 紗子(博報堂)、松澤 智弘(読売広告社)

■「口角が上がる広告」

施策主体：株式会社i-plug／株式会社プラチナム

推薦者：根本 純(オリコム)菅原 優美(ジェイアール東日本企画)

■Think Name Project「#2531 佐藤さん問題」

施策主体：一般社団法人あすには

推薦者：川西 萌登(ADKマーケティング・ソリューションズ)

■TRAIN TV

施策主体：株式会社ジェイアール東日本企画

推薦者：川名 爽太(朝日広告社)、高野 倭(朝日広告社)、和田 八重丸(ジェイアール東日本企画)

■「スマートフォンAQUOS」CM『ああ、松田優作に、使って欲しい。』

施策主体：シャープ株式会社

推薦者：仲野 駿(ジェイアール東日本企画)

■コンビニ食材でつくれる金麦看板レシピ

施策主体：サントリー株式会社

推薦者：岩間 三茉里(第一通信社)、植本 あや(読売広告社)

■「ドゥーテスト」WEBアニメ『めげない！卵子ちゃん！』

施策主体：ロート製薬株式会社

推薦者：水谷 沙紀(博報堂)

※ファイナリストは最終審査に残った施策を指します

第60回吉田秀雄記念賞 受賞者

特別功労賞

丹羽 信一 (株式会社 日本経済広告社 相談役)

〔略歴〕

1968年 日本大学法学部新聞学科卒業
1969年 株式会社日本経済広告社入社
1982年 同社 専務取締役
1985年 同社 代表取締役専務
1986年 同社 代表取締役社長
2019年 同社 代表取締役会長
2025年 同社 相談役

〔協会役職〕

1989年～ 当協会理事
1993年～ 2018年
　　懸賞論文委員会担当理事
1993年～ 運営委員会委員
1996年～ 入会資格審査委員会委員
1999年～ 役員選挙管理委員会委員
2008年～ 吉田秀雄記念賞選考委員会委員
2009年～ 役員選挙管理委員会委員長 現在に至る

〔贈賞理由〕

協会理事に就任以来35年間に亘り、多岐にわたる協会事業・運営に精力的にご尽力いただいた。特に懸賞論文委員会担当理事として、広告業界の知識とモラールの向上に努められると共に、運営委員会、入会資格審査委員会、役員選挙管理委員会、吉田秀雄記念賞選考委員会などの委員長、及び委員として協会運営に多大な貢献をされた。

早川 浩 (株式会社 ハヤカワ 代表取締役社長)

〔略歴〕

1965年 慶應義塾大学商学部卒業、同年、株式会社早川書房入社
1966年 同社 代表取締役副社長
1981年 株式会社東西通信社 代表取締役副社長
1989年 株式会社早川書房・株式会社東西通信社 代表取締役社長
1990年 株式会社東西通信社を株式会社ハヤカワ・エージェンシーに社名変更
2019年 株式会社ハヤカワ・エージェンシーを株式会社ハヤカワに社名変更

〔協会役職〕

1994年～ 当協会監事
1994年～ 2012年
　　財務委員会委員 現在に至る

〔贈賞理由〕

1994年協会監事並びに財務委員会委員に就任。以来30年間に亘り、その指導的役割を発揮し、広告業界の発展に寄与された。特に、公益法人会計に則った財務会計の推進に尽力されるとともに、協会監事として健全な財務基盤の確立に多大な貢献をされた。

個人賞

該当なし

グループ賞

該当なし